

☆ひとが育つまちづくり☆

のち

野口

ようすけ

発行日:2010年 4月
発行人:野口 陽輔



3月議会報告

先日、3月議会が終了致しました。3月議会は、平成22年度をスタートするにあたっての方針や予算などを審議する重要な議会です。

そこで、今回は新年度のスタートにあたり、主要な議案、及び一般質問の内容について報告致します。

～議案～

予算 ～平成22年度交野市一般会計予算案可決～

平成22年度交野市一般会計予算案に私も賛成し、可決されました。

市は、持続可能な財政構造を目指すために昨年11月に第二次財政健全化計画を策定し、今回の予算案にも、その内容が色濃く反映されています。現下の厳しい経済状況、税収の落ち込み、莫大な負債、多様化する市民ニーズへの対応等、予算案をまとめるにあたり市が非常に苦慮していることは理解します。また、将来に負担を残さないため、これまで行ってきた施策の廃止や縮小などを実施することは、苦渋の選択であると考えます。しかし、このような状況下であるからこそ、知恵を出し、汗をかき、市民の皆様喜んで頂けるような方策、施策を実施する必要があります。

一方、個別の施策・予算に目を向けると、一層の検討を要するものもあり継続議論が必要です。例えば、今回、交野市身体障がい者福祉会をはじめとした各団体から求められている「ゆうゆうバスの継続」に関しては、私の所属する会派(市民かがやきクラブ)としても重く受け止め、問題点を明らかにし、継続して議論していきます。

<平成22年度予算>

| | 平成22年度予算 | 平成21年度差 |
|----------------|--------------|--------------|
| 一般会計 | 234億7849万2千円 | +34億2450万2千円 |
| 国民健康保険特別会計 | 74億 48万7千円 | + 2億2402万 円 |
| 下水道事業特別会計 | 14億7721万3千円 | - 2億 859万6千円 |
| 老人保健特別会計 | 476万5千円 | - 984万7千円 |
| 介護保険特別会計 | 39億3446万 円 | + 908万4千円 |
| 公共用地先行取得事業特別会計 | 14億3248万8千円 | + 5億8567万 円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 7億 641万7千円 | + 2916万4千円 |
| 合計 | 384億3432万2千円 | +40億5399万7千円 |

※予算規模は昨年より40億5399万7千円、率にして11.8%の増額です。主な理由としては、公債費が19億3244万3千円(内、借換債が18億9438万8千円増額)、扶助費で11億9580万7千円増、子ども手当での創設によるものです。

野口のコメント



平成22年度も経常収支比率(収入に対する必要最低限の支出の割合)が100%を超えています。今、市に求めるのは、「まちづくりの明確な方向性の明示」、「事務事業の抜本的な見直し」です。

都市整備 ～市条例があるのになぜ星田駅前パチンコ店は営業できるのか?～

交野市域内において、良好な社会環境と教育環境の保全を目的とした「交野市風俗営業等に係る特定建築物の建築等の規制に関する条例」に違反しているにも関わらず、パチンコ遊技場の建築が強行され、営業が開始される事態が発生しました。

これに対して、市は市条例に基づき建築中止命令や刑事告発の措置を行いました。しかし、事業者は「建築基準法」並びに「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」及び「大阪府風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例」に抵触していない、として交野市のまちづくりを理解せずに建築、営業がなされました。

これは、法令で自治体の意見を汲み取る規定がないことが要因で(市の条例で出店を認めていなくても裁判になると国の法律が優先されます)、地域の独自性を認めていないと言っても過言ではありません。

今後、交野市の特長あるまちづくりを推進していくために、市条例の実効性が確保できるように関係法令を整備する要望書を国土交通大臣、総務大臣、内閣官房長官、大阪府知事、大阪府議会議長へ提出することになりました。

～市長の施政方針に対する一般質問～

労働政策 ～安心して働けるまちづくりについての要望～

野口の要望

市長の施政方針の中に労働者の視点に立った考えが話されていない。現役の労働者世帯は、昨今の景気低迷により、失業や収入の減少に苦しんでいる。ところが、今の交野市は、働きに出ようと思っても「親の面倒を見てくれる場所がない」、「子どもを預ける場所がない」といった状況にある。そこで、労働者がもっと安心して働くことが出来るように介護サービスの充実や待機児童の解消などを行政と地域が一体となって解決する必要がある。交野市を「ワークライフバランスが実現できるまち(仕事と生活が両立できるまち)」として、まちづくりの重要施策として打ち出すべきである。

市の答弁

労働者が働きやすいまちづくりを考えていくことは大変重要であり、介護サービスの充実や待機児童の解消は課題として認識はしている。特に待機児童に関しては、児童数の推移を見ながら継続検討する。



教育政策 ～イキイキ学べる教育環境づくりについての要望～

野口の要望

中学校へ上がった際に、登校拒否や学力低下に至るケースが見受けられるため、小学校と中学校で連携を取ることが大変重要である。9年間の義務教育の中で子どもたちをどの様に育てるかを考えなければならない。例えば、小学校1年生から4年生までの4年間、小学校5年生から中学校1年生までの3年間、中学校2年生から3年生までの2年間といったカリキュラム編成など、根本的な小中学校連携の議論を進めるべきである。

市の答弁

他市の私立学校で行っている完全な小中学校連携は、教師の免許の問題など法的な課題はあるものの、今後、議論を進めていく。



※その他、市政運営について、市職員の人材育成と組織のあり方について等を質問致しました。



平成22年度のスタートにあたって

国では「コンクリートから人へ」の方針のもと予算の編成がなされました。大阪府は「カットから構造改革へ」に変えようとしております。しかし、交野市は相変わらず「カットからカット」が続いております。交野市も大阪府同様「カットから構造改革」へ変える必要があります。しかし、構造を変えるためには、まちづくりの方針を明確にしなければなりません。私は、その方針を明確にする年度と思っております。そのキーワードとなるのは①少子高齢化対策(少子化=教育・子育て、高齢化=健康)②労働者対策③環境政策だと考えます。

交野市は3月20日に第二京阪道路も開通し、沿道の姿も大きく変わりました。今後は、交通量の監視はもちろんのことですが、交野市の将来を見据えた、まちの姿も明確にすべきと考えます。2010年度は、私は、市民に交野市の将来をしっかりと示すことが出来るように取組んで参りたいと思います。

【お知らせ】

- ◆9月17日任期満了となる交野市長の選挙日程
 - ・告示日(立候補届出日) 平成22年8月29日(日)
 - ・投票日 平成22年9月5日(日)
- ◆6月議会の日程(変更になることもあります)
 - ・6月2日(水) 本会議(議案上程)
 - ・6月4日(金) 常任委員会 ※7日(月)予備日
 - ・6月14日(月)
 - ～6月16日(木) 本会議(一般質問) ※17日(木)予備日
 - ・6月18日(金) 本会議(常任委員会報告・採決)



市民相談はもちろんのこと、皆様のご意見ご質問もお気軽にお問い合わせください。

お電話、FAX、Eメールにてご相談ください。

TEL/FAX : 072-397-9615

Email : ynoguchi_katano@hello.zaq.jp